

実施事業

1 畜産振興に関する事業

本事業は、県内畜産農家が、消費者へ継続的かつ安定的に畜産物を供給できるようにするために、畜産農家の生産技術向上及び経営技術習得を指導する事業であり、下記の事業を実施した。

1) 畜産農家の生産技術向上に対する事業で、家畜の改良や改良に必要な情報収集を実施する事業

(1) 家畜改良繁殖推進事業【福井県補助事業：626,000円】

乳用雌牛群の効率的かつ総合的な能力検定の推進により、優良乳用雌牛群の選抜確保と能力に応じた利用および効率的な飼育管理ならびに検定済種雄牛の計画的増頭を図るため、乳用雌牛の飼育農家を対象に検定雄牛および後代検定材料牛の検定の実施、記録の収集ならびに検定成績による指導を14戸462頭実施した。

(2) 家畜改良繁殖推進事業【福井県委託事業：113,000円】

乳用牛群検定の普及定着及び後代検定による乳用牛の能力向上を図るため、全国の牛群情報を収集すると共に、データーを集計分析し、農家指導等県段階の事業推進に努めた。

(3) 乳用種雄牛後代検定事業【家畜改良事業団委託事業：22,630円】

後代検定事業推進のため調整交配の促進、後代検定娘牛受胎奨励に努めた。

(4) 乳用牛改良増殖推進事業【家畜改良事業団委託事業：19,200円】

乳用牛の遺伝子情報を用いたゲノミック評価の信頼性を向上させるため、SNP検査に必要な未經産牛のサンプル収集を行い、泌乳持続性の高い乳用牛の改良を進めた。5戸8頭実施。

(5) 日本家畜人工授精師協会委託事業【日本家畜人工授精師協会委託事業：41,746円】

乳用雌牛に対する交配品種ごとの人工授精および受精卵移植の交配実績のデーター収集を四半期毎に実施し、将来動向を事前に的確に把握することにより乳用後継牛確保に努めた。

2) 畜産農家の経営診断および改善指導、消費者に対する畜産物の情報提供により畜産振興を図る事業

(1) 畜産経営技術指導事業【地方競馬全国協会補助事業：5,588,000円】

地域での畜産振興を推進するため、消費者の畜産に対する理解醸成のための消費拡大イベントや、畜産技術の研修などを支援した。

(2) 畜産経営技術高度化支援指導事業【福井県補助事業：890,000円】

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を早急に育成するために、畜産農家同士の切磋琢磨のなかで、自ら経営改善に取り組む意欲・努力を助長すると

ともに、指導体制および指導手段・内容の充実を図ることにより、畜産農家の経営技術の高度化に対する支援・指導を総合的に実施した。

(1) 畜産農家に対する情報経営技術高度化指導（個別指導）

①先進経営育成のための集合研修	8回
②経営計画の作成指導	16回
③経営改善のためのフォローアップ指導	16回
④生産技術の改善指導	24回

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入）【中央畜産会委託事業：341,443円】

地域の畜産関係者が有機的に連携し、地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスター計画の中心的な経営体に対し、収益力の強化等に必要な機械のリース導入について、事業実施手続き等の効率化および事業実施体制の強化を図った。

(4) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業【中央畜産会委託事業：112,331円】

酪農経営における働き方改革の実現を一層加速化するため、酪農家による省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備に対する支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(5) 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）【中央畜産会委託事業：159,415円】

酪農家や肉用牛農家に対して、省力化（労働負担軽減）・生産性向上を図ることを目的にICT化等の新技術を活用した機械装置のリースによる導入を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(6) 畜産関係団体調整機能強化事業【中央畜産会委託事業：1,059,103円】

現下の畜産をめぐる厳しい内外環境に対処するため、県内畜産経営者からの経営・技術・制度・資金等各種相談に応じる畜産経営相談窓口となり、畜産経営者等への支援を実施した。

2 畜産経営の安定のための価格差補填金の交付に関する事業

本事業は、県内肥育牛生産者が、安定的に経営を継続していけるように販売した肉用牛に対する価格差補てんをする事業であり、下記の事業を実施した。

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

畜産経営の安定に関する法律（昭和36年法律第183号）に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付することで、肉用牛肥育経営の安定を図った。なお、当協会は農林水産大臣が指定する積立金管理者として、負担金を適切に管理した。

(ア) 令和3年3月31日現在 契約戸数：28戸

(イ) 令和2年4月～令和3年3月基金造成額

(単位：頭、円)

品 種	頭数	肥育安定 基金造成額
肉 専 用 種	160	6,423,132
交 雑 種	179	4,135,532
乳 用 種	6	57,440
合 計	345	10,616,104

(ウ) 肉用牛交付金交付実績

(単位：頭、円)

品種区分	交付対象		交付金 交付額	機構分	積立金分
	人数	頭数			
肉 専 用 種	73	238	29,687,211	22,265,384	7,421,827
交 雑 種	87	416	46,323,979	34,742,951	11,581,028
乳 用 種	16	25	938,497	703,867	234,630
小 計	176	679	76,949,687	57,712,202	19,237,485

※平成26年度より平成26年4月に販売された交付対象牛から、交付金の概算払いを実施。

※交付金の額の1/4に相当する額は、生産者積立金から、残りの3/4に相当する額(国費)は、機構から交付。

※平成31年4月より県別算定をしてきたが、算定方法の見直しにより、令和2年3月販売分以降、枝肉販売価格についてブロック別算定へ変更。

※令和2年4月から新型コロナウイルス感染症対策に係る畜産支援対策として負担金の納付猶予措置を実施。

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業【農畜産業振興機構委託：5,371,830円】

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務を、円滑に実施した。なお、標記制度委託要綱第4に基づき、事務の一部を下記の事務委託先へ委託して実施した。

福井県農業協同組合、越前たけふ農業協同組合、福井県経済農業協同組合連合会、福井県配合飼料価格安定基金協会

(3) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業(肥育支援事業)【中央畜産会委託：1,218,487円】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内外の需要減少により枝肉価格が低下し、畜産農家の経営悪化が危惧されている。このため、経営体質強化に取り組む畜産農家へ、出荷頭数に応じた奨励金を交付する事業を県内において円滑に実施した。

事業参加者数 25人、奨励金交付頭数 829頭、奨励金交付金額 16,580,000円

3 家畜の伝染性疾病の予防、生産衛生に関する事業

安全安心な畜産物を生産・提供するための家畜疾病予防対策や家畜衛生指導を行った。

(1) 牛疾病検査円滑化推進対策事業【国庫補助事業：543,041円】

死亡牛の円滑かつ適正な処理を推進するとともに、BSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の運搬・処理体制の整備を支援し、畜産物の安全性の一層の向上と消費者の信頼確保に努めた。

(2) 家畜防疫互助基金支援事業【農畜産業振興機構補助事業：72,750円】

口蹄疫、豚コレラ等の悪性伝染病が発生した場合に備え、生産者等が損失を互助補償するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、家畜防疫互助事業への加入を推進した。

4 その他の事業

1) 乳牛及び和牛の改良を推進するために、家畜改良事業団の精液取扱窓口団体として凍結精液の販売を行う事業

県内の乳牛・和牛の種畜改良および生産性の向上を図るために、(一社)家畜改良事業団等の精液取扱窓口団体として、酪農家及び和牛繁殖農家等に牛の凍結精液を販売した。

(1) 精液等取扱事業【独自事業：9,051,350円】

精液配布本数 乳用牛 890本 和牛 670本 後代検定 84本
液体窒素配布 県内5ヶ所おおむね40日間隔で年9回補給した。

2) 家畜改良の促進を図るために、家畜の登録事業を行う事業

家畜の改良増殖、生産効率向上のため、県内の酪農家で生まれた子牛の遺伝的な情報を登録し、近親交配・遺伝的不良形質をもった牛の生産を回避するための家畜登録を推進した。

(1) 家畜登録事業【独自事業：804,760円】

自動登録 213頭 血統登録 2頭
遺伝子型検査 5頭 更正 2頭
自動登録を推進し、登録の普及啓蒙を図った。

3) 安全・安心な畜産物を生産及び提供するため、家畜の予防接種を行う事業

安全・安心な畜産物の生産および生産性の向上のために予防接種を実施した。

(1) 予防接種事業【独自事業：4,242,480円】

予 防 接 種 名	実施計画頭羽数	実施頭羽数
豚日本脳炎・豚パルボ感染症混合	0	0
鶏ニューカッスル病	26,000	24,400
牛伝染性鼻気管炎および五種・六種混合	470	399
牛異常産三種・四種混合	530	519
牛ヘモフィルス感染症およびキャトルバクト3	140	130
牛クロストリジウム感染症五種混合	800	864
牛下痢五種混合	100	118

(2) 予防接種事故対策事業 【独自事業】

予防接種事業に係る不測の事故は無かった。

4) 県内畜産公共施設での家畜衛生業務や消費者への体験学習業務により、家畜衛生の向上や畜産の普及啓発を図る事業

県内畜産公共施設において、家畜衛生の業務の速やかな実行のための業務員配置、消費者の畜産知識の向上を図るための体験ガイド配置により、家畜衛生および畜産の普及啓発の向上を図った。

(1) 家畜衛生業務委託事業【福井県業務委託事業：3,905,000円】

牛海綿状脳症（BSE）の湿潤状況および防疫対策を検証するため、死亡牛の適正処理とBSE検査を円滑に行えるよう、死亡牛等の解剖補助・処理の業務を行い、良好な家畜衛生業務及び環境維持に努めた。

(2) ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業【福井県業務委託事業：10,338,900円】

畜産試験場等の公営畜産施設において業務員を配置し、ふれあい牧場の施設管理、家畜の管理をするとともに、動物とのふれあいや体験学習の案内及び畜産に対する理解醸成に努めた。

体験学習実施 40団体 1,607人 見学者対応 23,857人

(3) 畜産試験場家畜飼養管理等業務委託事業【福井県業務委託事業：12,650,000円】

畜産試験場において業務員を配置し、家畜の飼養管理等を行うことで、試験研究等の業務補助に努めた。

(4) 豚コレラ野生イノシシ経口ワクチン緊急散布支援事業会計業務委託

【福井県豚コレラ感染拡大防止対策協議会委託：4,549,895円】

野生イノシシにおけるCSFウイルスの拡散防止を図り、もってCSFの発生予防およびまん延防止を徹底するため設置された、福井県豚コレラ感染拡大防止対策協議会の会計業務を円滑に実施した。

5) 放牧等畜産振興に係る技術指導等

生産者で組織する放牧組合が、県内の耕作放棄地を利用して実施する放牧に対して、放牧場の維持管理方法の指導を実施し、畜産の技術向上を図った。

(1) 放牧管理業務事業【独自事業：80,104円】

農林高校の授業の一環として実施している演習場（柿畑）での放牧について、農家との連絡調整・放牧牛の手配、放牧場の見回り等の支援を実施した。

また、耕作放棄地を利用した新たな放牧場の管理支援等を実施した。

(2) 消費拡大事業【独自事業：478,148円】

コロナ禍での牛肉消費減少を少しでも食い止めるため、生産者団体、JA関係とともに「若狭牛クイズ」をネット上で展開し、ブランド和牛の消費拡大につながるイベントを実施した。また、JAでのイベントにおいて県産卵を配布するなど、県産畜産物の消費拡大に資した。

(3) ふくいポーク再生プロジェクト事業【独自事業：797,128円】

ふくいポークと県内養豚の振興のため、福井農林高校の生徒が行う簡易な農業用ハウスを利用した飼養生産実証への養豚技術の授業や技術支援を実施し、食育や畜産への理解醸成を推進した。

飼養頭数 4頭 飼養期間 令和2年10月30日～令和3年1月5日

一般指導および畜産振興にかかる諸事業

関係機関・団体との緊密な連携のもとに、必要に即し畜産経営指導および経営能力向上等の指導に努めるとともに、各畜産共進会等への協力と優秀入賞家畜飼養者に対する褒賞等を行い、畜産農家の生産技術と意欲の高揚促進に努めた。

また、各関係機関・団体等における各畜産振興事業に対し積極的に協力するとともに、本県畜産の安定的発展に努めた。

(各畜産共進会等に対する褒賞状況)

共進会名	開催年月日	褒賞
第27回福井県肉牛枝肉共励会	令和2年12月7日	賞状および副賞

貸借対照表

令和3年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	8,183,890	5,210,306	2,973,584
未 収 金	8,979,751	8,226,253	753,498
前 払 費 用	241,931	246,237	△ 4,306
流動資産合計	17,405,572	13,682,796	3,722,776
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	29,800,000	26,800,000	3,000,000
家 畜 衛 生 基 金	0	10,279,000	△ 10,279,000
肥 育 安 定 基 金 預 金	9,541,730	18,163,111	△ 8,621,381
特定資産合計	39,341,730	55,242,111	△ 15,900,381
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	39,341,730	55,242,111	△ 15,900,381
資産合計	56,747,302	68,924,907	△ 12,177,605
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	7,967,520	4,788,256	3,179,264
預 り 金	286,175	266,613	19,562
未 払 消 費 税 等	2,872,767	2,455,785	416,982
流動負債合計	11,126,462	7,510,654	3,615,808
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	29,800,000	26,800,000	3,000,000
長 期 預 り 金	0	10,279,000	△ 10,279,000
肥 育 安 定 基 金	9,541,730	18,163,111	△ 8,621,381
固定負債合計	39,341,730	55,242,111	△ 15,900,381
負債合計	50,468,192	62,752,765	△ 12,284,573
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	6,279,110	6,172,142	106,968
一般正味財産合計	6,279,110	6,172,142	106,968
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	6,279,110	6,172,142	106,968
負債及び正味財産合計	56,747,302	68,924,907	△ 12,177,605

正味財産増減計算書

令和2年 4月 1日から令和3年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
賦 課 金	4,305,500	4,593,500	△ 288,000
賦 課 金	4,305,500	4,593,500	△ 288,000
事 業 収 益	14,098,590	14,514,739	△ 416,149
家畜登録事業収益	804,760	541,119	263,641
精液取扱事業収益	9,051,350	10,164,980	△ 1,113,630
予防接種事業収益	4,242,480	3,808,640	433,840
受取補助金等	48,174,068	42,464,846	5,709,222
家畜生産農場清浄化対策事業費	0	213,421	△ 213,421
牛疾病検査円滑化推進対策事業費	543,041	601,633	△ 58,592
家畜改良繁殖推進事業(補助金)	626,000	626,000	0
畜産経営技術高度化支援指導事業費	890,000	890,000	0
畜産経営技術指導事業費	5,588,000	5,388,000	200,000
家畜防疫互助基金支援事業費	72,750	97,876	△ 25,126
豚コレラ野生イノシシ経口ワクチン導入緊急支援事業費	0	5,243,306	△ 5,243,306
家畜改良事業団補助金(奨励金)	272,717	351,779	△ 79,062
日本ホルスタイン登録協会補助金(還元金)	278,580	162,794	115,786
家畜衛生業務委託事業費	3,905,000	3,738,166	166,834
家畜改良繁殖推進事業費(委託)	113,000	162,000	△ 49,000
ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業費	10,338,900	11,627,460	△ 1,288,560
畜産試験場家畜飼養管理等業務委託事業費	12,650,000	0	12,650,000
肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業費	5,371,830	5,354,565	17,265
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費	341,443	391,434	△ 49,991
酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業費	112,331	143,727	△ 31,396
畜産経営体生産性向上対策事業費	159,415	169,031	△ 9,616
畜産関係団体調整機能強化事業費	1,059,103	967,928	91,175
肥育牛経営等緊急支援特別対策事業(肥育生乳用種雄牛後代検定事業費)	1,218,487	0	1,218,487
乳用種雄牛後代検定事業費	22,630	22,546	84
乳用牛改良増殖推進事業委託事業費	19,200	19,200	0
日本家畜人工授精師協会委託事業費	41,746	39,580	2,166
野生イノシシ経口ワクチン散布事業会計業務	4,549,895	6,254,400	△ 1,704,505
受取負担金	2,045,232	1,798,745	246,487
牛群検定賦課金	2,045,232	1,798,745	246,487
受取手数料	1,124,200	1,172,960	△ 48,760
受取協会事務手数料	1,124,200	1,172,960	△ 48,760
家畜防疫互助事業預かり金収益	0	254,700	△ 254,700
豚生産者基金預かり金収益	0	254,700	△ 254,700
雑 収 益	420,393	541,641	△ 121,248
受 取 利 息	2,129	2,013	116
雑 収 益	338,264	459,628	△ 121,364
賛 助 会 費	80,000	80,000	0
指定正味財産からの振替額	19,238,912	756,556	18,482,356
経常収益計	89,406,895	66,097,687	23,309,208
(2) 経常費用			
事 業 費	82,724,682	59,586,945	23,137,737
給 料 手 当	18,497,845	18,122,730	375,115
予 防 接 種 技 術 料	695,200	450,000	245,200
臨 時 雇 賃 金	1,823,240	1,575,740	247,500
出 向 負 担 金	1,200,000	1,200,000	0
退 職 給 付 費 用	3,000,000	5,260,200	△ 2,260,200
法 定 福 利 費	3,000,595	2,924,815	75,780

科 目	当年度	前年度	増 減
旅 費 交 通 費	648,494	958,051	△ 309,557
通 信 運 搬 費	1,060,505	990,549	69,956
事 務 消 耗 品 費	985,821	309,402	676,419
印 刷 製 本 費	65,786	109,497	△ 43,711
賃 借 料 費	259,332	229,539	29,793
保 險 料 金	110,870	24,801	86,069
諸 謝 金	14,000	14,000	0
租 税 公 課	1,892,382	2,461,385	△ 569,003
ワ ク チ ン 購 入 費	2,471,832	2,567,632	△ 95,800
支 払 負 担 金	2,703,024	315,293	2,387,731
家 畜 登 録 事 業 費	703,890	479,760	224,130
精 液 取 扱 事 業 費	7,562,057	8,595,324	△ 1,033,267
支 払 助 成 金	19,519,610	1,060,510	18,459,100
支 払 補 助 金	0	4,659,778	△ 4,659,778
支 払 市 町 村 交 付 金	20,860	22,040	△ 1,180
委 託 費	16,089,950	6,881,980	9,207,970
雑 費	399,389	373,919	25,470
管 理 費	6,566,245	5,249,122	1,317,123
給 料 手 当	394,505	201,255	193,250
臨 時 雇 賃 金	6,000	11,000	△ 5,000
法 定 福 利 費	9,748	31,917	△ 22,169
会 議 費	287,703	384,345	△ 96,642
旅 費 交 通 費	2,310	44,043	△ 41,733
通 信 運 搬 費	53,649	55,325	△ 1,676
事 務 消 耗 品 費	15,570	20,337	△ 4,767
印 刷 製 本 費	5,772	8,286	△ 2,514
賃 借 料 費	108,405	107,380	1,025
事 務 所 費	2,278,094	2,268,766	9,328
慶 弔 費	20,000	0	20,000
租 税 公 課	101,800	367,541	△ 265,741
支 払 負 担 金	2,168,550	666,130	1,502,420
雑 費	1,114,139	1,082,797	31,342
支 払 家 畜 防 疫 互 助 事 業 預 り 金	0	254,700	△ 254,700
豚 生 産 者 基 金 積 立 金	0	254,700	△ 254,700
畜 産 振 興 費	9,000	809,000	△ 800,000
畜 産 振 興 費	9,000	809,000	△ 800,000
經常費用計	89,299,927	65,899,767	23,400,160
評価損益等調整前当期經常増減額	106,968	197,920	△ 90,952
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	106,968	197,920	△ 90,952
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
指定正味財産からの振替額	10,279,000	148,974,515	△ 138,695,515
經常外収益計	10,279,000	148,974,515	△ 138,695,515
(2) 經常外費用			
返 戻 金	10,279,000	148,974,515	△ 138,695,515
家 畜 衛 生 基 金	10,279,000	0	10,279,000
肥 育 安 定 基 金	0	148,974,515	△ 148,974,515
經常外費用計	10,279,000	148,974,515	△ 138,695,515
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	106,968	197,920	△ 90,952
一般正味財産期首残高	6,172,142	5,974,222	197,920
一般正味財産期末残高	6,279,110	6,172,142	106,968
II 指定正味財産増減の部			0
受 取 積 立 金	10,616,104	15,167,000	△ 4,550,896
生 産 者 積 立 金	10,616,104	15,167,000	△ 4,550,896
特 定 資 産 運 用 益	1,427	871	556

科 目	当年度	前年度	増 減
特 定 資 産 受 取 利 息	1,427	871	556
基 金 取 崩 額	29,516,485	149,730,200	△ 120,213,715
基 金 繰 入 額	10,616,104	15,167,000	△ 4,550,896
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 29,517,912	△ 149,731,071	120,213,159
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	6,279,110	6,172,142	106,968

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給債務額に相当する金額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、通常の賃貸借処理取引に係る方法に準じた会計処理による。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式で計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	26,800,000	3,000,000	0	29,800,000
家 畜 衛 生 基 金	10,279,000	0	10,279,000	0
肥 育 安 定 基 金 預 金	18,163,111	10,616,104	19,237,485	9,541,730
小 計	55,242,111	13,616,104	29,516,485	39,341,730
合 計	55,242,111	13,616,104	29,516,485	39,341,730

3 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち基金からの充当額)	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産					
小 計	0	0	0	0	0
特定資産					
退 職 給 付 引 当 資 産	29,800,000				29,800,000
肥 育 安 定 基 金 預 金	9,541,730				9,541,730
小 計	39,341,730	0	0	0	39,341,730
合 計	39,341,730	0	0	0	39,341,730

4 担保にしている資産 なし

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
牛疾病検査円滑化推進対策事業	北陸農政局	0	543,041	543,041	0	
家畜改良繁殖推進事業	福井県	0	626,000	626,000	0	
畜産経営技術高度化支援指導事業	福井県	0	890,000	890,000	0	
畜産経営技術指導事業	地方競馬全国協会	0	5,588,000	5,588,000	0	
家畜防疫互助基金支援事業	農畜産業振興機構	0	72,750	72,750	0	
合 計		0	7,719,791	7,719,791	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産運用益振替額	1,427
肥育牛補填金支払に係る振替額	19,237,485
経常外収益への振替額	
家畜衛生基金返還額	10,279,000
合 計	29,517,912